

東北芸術工科大学伝統館

薪能

能

善知鳥

観世鍊之丞

殺生を生業とした獵師の男は、
その報いで死してなお地獄で責苦を受け続ける…。
救いがなく、見る者に強烈な印象を残す能。

うと



連歌狂いのため
妻に愛想を尽かされた夫。
暇のしるしに持たせる
金目のものが何もないため
夫は妻に使い慣れた
日用品の箕を渡し…。

山本東次郎

箕被

狂言

みかづき

2024年6月10日(月) 17時30分開演 (受付開始 16時30分)

東北芸術工科大学水上能楽堂「伝統館」

入場協力金: 一般の方 3,000円 / 本学生の保護者 2,000円 / 他学生 1,500円

※小中高生・本学生無料

【主催】東北芸術工科大学 【後援】山形県 / 山形市

申込先

お申込み者1名につき往復はがき1枚に、往信面に「ご氏名、ご住所、電話番号、薪能鑑賞希望」とご明記の上、
返信面の宛先にご住所・ご氏名をお書きいただき、下記宛先にお送りください。折り返し、入場整理券として返送さ
せていただきます。なお、本学生の保護者の方(1家族2名まで)は、上記に加えて、往信面に本学生の氏名と学
籍番号をお書きください。

東北芸術工科大学 地域連携推進課 〒990-9530 山形市上桜田三丁目4番5号

Tel: 023-627-2217 Fax: 023-627-2081 E-mail: chiiki@aga.tuad.ac.jp URL: http://www.tuad.ac.jp

東北芸術工科大学伝統館薪能

2024年6月10日(月) 午後5時30分開演

於 東北芸術工科大学水上能楽堂伝統館

学長挨拶 中山ダイスケ

解説 鶴澤 光

狂言 箕 被

シテ夫 山本東次郎 アド妻 山本凜太郎

— 火入れ・休憩 —

子方 千代童 安藤継之助

ツレ 狐師ノ妻 安藤 貴康

前シテ 尉

後シテ 狐師 観世鏡之丞

能 善知鳥

ワキ 旅僧 宝生 常三

アイ所ノ者 山本 則孝

後見 西村 高夫
清水 寛二

地謡 小早川泰輝 鶴澤 久
青木 健一 北浪 貴裕
谷本 健吾 馬野 正基
長山 桂三 観世 淳夫

大鼓 大倉慶乃助 笛 八反田智子
小鼓 田邊 恭資

【演目紹介】

狂言 箕被 (みかさき)

あちらこちらの連歌の会に顔を出し、ろくに家にも戻らぬ連歌狂いの男が明日の会の当番になったと言つて妻にその準備を言いつける。妻は夫の連歌狂いが原因で朝夕の食事のままならぬというのに向に悪びれる様子のない夫に呆れ、遂に離縁を申し出る。夫は暇のしるしにと辺りを見回すが、既に金目のものは何もない。仕方なく妻の使い慣れた箕(穀物をふるいにかけるための日用品)を渡すが、それを頭に被いて出て行く妻の後ろ姿に夫は思わず「三日月(箕被)の出づるも惜しき名残かな」と発句を読む。すると妻がささず「秋(飽き)の形見に暮(呉)れてゆく空」と見事に脇句をつけるので…。

夫婦の心の機微を連歌に巧みに結びつけ、情感豊かに描いた味わい深い狂言。

能 善知鳥 (うとう)

陸奥、外の浜へと向かう途中、越中立山に立ち寄つた旅僧の前に狐師の亡霊が現れ、外の浜に残した妻子に自分の供養をさせるよう伝言を頼んで消え失せる。僧は狐師の頼み通りに外の浜を訪ねると、子とともに夫の死を嘆き悲しんでいる妻に狐師から預かつていた証拠の袖を渡し、読経して狐師を弔う。やがて僧の回向に惹かれて狐師の亡霊が現れると、犯した罪の重さに心安まることのない我が身を救つて欲しいと訴え、生前の殺生を悔いて我が子に近づく。しかし無情にもその姿はかき消され、これも生前の報いかと男は嘆き、殺生の日々を悔悟する。

さらに狐師は親鳥の鳴き真似をして子鳥を捕える狐の様を見せるが、親鳥の流す血の涙に簀や笠も用をなさず、血は目を霞ませ容赦なく体を濡らすのだった。また地獄に落ちた今もなお化鳥となった善知鳥に責め苦を受け続けているのだと言うと、その有様を見せて僧に救いを乞い、そのまま姿を消してしまふ…。決して逃れることの出来ない地獄の責め苦を執拗に描き、最後まで救われることなく逃げ惑う姿に凄惨かつ強烈な印象を見る者に与える能。

【演者紹介】

山本東次郎

大蔵流狂言方。一九三七年、故三山本東次郎の長男として生まれる。四二年、狂言「痿痺」のシテで初舞台。五二年「三番三」、五八年「釣狐」、七一年「花子」を披く。九二年度芸術選奨文部大臣賞受賞。九四年度観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞。九八年、紫綬褒章受賞。〇一年、エクスンモービル音楽賞(邦楽部門)受賞。〇七年、日本芸術院賞受賞。重要無形文化財各個指定(人間国宝)。一般財団法人杉並能楽堂理事長。

観世鏡之丞

観世流シテ方。一九五六年、故八世観世鏡之丞静雪(人間国宝)の長男として生まれる。伯父観世寿夫、および父に師事する。六〇年、四歳で初舞台。〇二年、九世鏡之丞を襲名。力強さと繊細さを兼ね備えた謡と演技には定評がある。海外公演やジャンルを超えた世界でも幅広く活躍。〇八年度日本芸術院賞受賞。二年紫綬褒章受賞。重要無形文化財総合指定保持者。公益社団法人鏡仙会理事長。公益社団法人能楽協会理事長。京都芸術大学評議員。

【開催にあたり】

七〇〇年の歴史を持つ能は、「ユネスコ世界無形文化遺産」に指定されるなど日本だけでなく世界的な舞台芸術のひとつとされています。

本学に水上能楽堂「伝統館」が出来ましたことを機に、より多くの県民の皆さまに幽玄なる能楽の世界に親しんでいただき、東アジアに生きる日本人としての社会的・文化的アイデンティティを確認する機会としていただければ幸いです。

東北芸術工科大学長 中山ダイスケ